

令和5年度事業報告書

1 総 会

◎第11回定時総会

令和5年5月29日（月）15時00分から、第1種会員4団体すべてが出席し、水産庁栽培養殖課柿沼忠秋課長、山崎雄一郎課長補佐、宮奥昂次係長、上田進之介係員臨席のもと第11回定時総会を開催し、次の議案について審議し、議決した。

第1号議案 令和4年度事業報告に関する件

第2号議案 令和4年度貸借対照表の承認に関する件

第3号議案 令和4年度正味財産増減計算書の承認に関する件

第4号議案 その他

議案の審議状況は、次のとおりである。

第1号議案 令和4年度事業報告に関する件

令和4年度事業報告書(案)により、事業の概要を報告、説明した後、定款第38条の規定に基づき、本件の承認を議決した。

第2号議案 令和4年度貸借対照表の承認に関する件

令和4年度末時点での貸借対照表について報告、説明した後、令和5年4月27日に監事監査を受け、適正且つ、妥当である事を確認した旨を報告、定款第13条の規定に基づき、本件の承認を議決した。

第3号議案 令和4年度正味財産増減計算書の承認に関する件

令和4年度末時点での正味財産増減計算書について報告、説明した後、令和5年4月27日に監事監査を受け、適正且つ、妥当である事を確認した旨を報告、定款第13条の規定に基づき、本件の承認を議決した。

第4号議案 その他

特になし。

2 理事会及び理事協議会

令和5年度の理事会の開催状況は、次表のとおりである。

回	開催日時	開催場所	審議事項等
1	令和5年 5月29日(月)	東京・日真珠振興会 /会議室	審議事項 ・令和4年度の決算承認について 協議事項 なし 報告事項 なし 各団体、各委員会及び事務局報告
2	令和5年 5月29日(月)	東京・日真珠振興会 /会議室	審議事項 ・会長、副会長、専務理事の選任 ・監事、参与、顧問の推薦 ・CIBJO年次総会への参加について ・沖縄科学技術大学院大学竹内猛氏の処遇について ・「漁業構造改革総合対策事業」に係る三重県地域 協議会への専務理事の参加について 協議事項 ・愛媛井上真珠店からのガラス製核使用に関する 特許権買取の是非について ・外国人による入札参加資格及び、組合入会の是非 について ・真珠検定事務局による法人クレジットカードの 作成について 報告事項 なし 各団体、各委員会及び事務局報告
3	令和5年 7月19日(水)	神戸・日本真珠輸出 組合/会議室	審議事項 ・日本真珠輸出組合に撮影ボックスを設置すること に伴う経費負担について 協議事項 ・CIBJOへの取り組み方について ・真珠連絡会の委員選出について ・令和5年度地域事業実施計画について (日本真珠輸出加工協同組合) ・遺伝系統解析事業に係る将来の方向について ・様々な被害状況に関する情報を水産庁に上げて いく仕組みのあり方について 各団体、各委員会及び事務局報告
4	令和5年 9月28日(木)	神戸・日本真珠輸出 組合/会議室	審議事項 ・農林中金・普通預金口座の今後の取扱いについて 協議事項 ・アコヤガイ遺伝系統解析拠点の設置について ・大阪・関西万博への対応について ・日本真珠振興会内の委員会の扱いについて 報告事項 ・第3回ジャパンパールフェアについて

			<ul style="list-style-type: none"> ・真珠研究シンポジウム2023-真珠研究の今を伝えるPART2の開催について ・真珠連絡会の活動報告 ・CIBJOのパールブックについて <p>各団体、各委員会及び事務局報告</p>
5	令和5年 11月7日(火)	神戸・日本真珠輸出組合/会議室	<p>審議事項 なし</p> <p>協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究拠点の委託費(振興会負担分)について ・人工種苗生産施設の機能強化に対する補助事業への応募について ・真珠遺伝子解析研究会の設置について <p>報告事項 なし</p> <p>各団体、各委員会及び事務局報告</p>
6	令和5年 12月8日(金)	東京・日真珠振興会/会議室	<p>審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2024年の「真珠新聞」の広告出稿について <p>協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・真珠産業連携強化協議会へのPEPCA役員の参加について <p>報告事項 なし</p> <p>各団体、各委員会及び事務局報告</p>
7	令和6年 3月29日(金)	リモート会議	<p>審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度能登半島地震義援金の支出について ・令和5年度「生産対策事業」「地域事業」の予算執行に係る事項について ・全真連「中間育成事業」の助成打ち切りについて ・受取日本真珠再生特別事業負担金の一部を「アコヤガイゲノム情報の利用による種苗生産の安定化手法の開発」を推進することとした基金として積むことについて ・国際宝飾展引当金の一部をアコヤ真珠の海外プロモーション事業費用に充てることについて ・日本ジュエリー協会との連携事業「真珠連絡会」の来年度予算の減額について ・ジャパン・プレシャス記事広告「真珠ライブ」への支出について ・令和6年度予算について <p>協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国GACへの対応方法について ・アコヤ真珠海外プロモーション事業への取り組み強化のための委員会設置について <p>報告事項 なし</p> <p>各団体、各委員会及び事務局</p>

(注) 詳細は、既配布及び振興会事務局設置の議事録参照

3 事業の概要

[実施事業等会計]

1 市場開拓及び需要拡大等支援事業

(1) 展示会等への出展による市場開拓・需要拡大事業

① 国内国際宝飾展出展事業

ジャパンジュエリーフェア2023（JJF2023）主催：(社)日本ジュエリー協会・インフォーマーマーケットジャパン㈱(令和5年8月30日(水)～9月1日(金)於：東京ビッグサイト)振興会ではフェアを後援し、会場内ブースにおいて「真珠指針」のPR活動、そして、「ジャパニーズアコヤ」の美しさと魅力を伝える日本真珠加工協同組合の取り組みを支援した。

また、ジュエリーデザインアワード2023において、日本真珠振興会会长賞の授与を行った。

(2) 地域活性化事業

① 愛媛県・真珠PRレディ募集事業 実施：愛媛県漁業協同組合

(令和5年10月10日応募締め切り、12月中旬最終選考、任期令和6年1月より1年間)

「全国一真珠が好きで真珠に詳しい愛媛県民育成」をねらい、愛媛県産アコヤ真珠の広告としてPRレディ「ミズ・オンドアール」を選出する事業を支援した。

② 真珠婚・おかげ参り事業 実施：真珠婚国際協会、三重県真珠養殖連絡協議会

(令和5年11月22日(水)於・伊勢神宮内宮、志摩観光ホテルザクラシック)

夫婦が結婚30周年を迎える11月22日を「真珠婚の日」と定め、この日に夫婦が絆を強め、幸せな家庭生活を願う証として、夫から妻に真珠を贈ることを普及させることを目的とした事業を支援した。

③ 真珠供養祭 実施：三重県真珠連絡協議会

例年10月22日に三重県、賢島で開催される真珠母貝供養祭を支援した。

2 品質向上及び供給安定化等支援事業

(1) 品質向上事業

① 品評会関連

ア 第48回全国真珠品評会、第21回全国花珠真珠品評会

振興会と全国真珠養殖漁業協同組合連合会の共催により、農林水産祭参加行事として、二つの品評会を実施した。

第48回全国真珠品評会（浜揚げ珠）

審査会 令和5年 12月25日(月) 於：伊勢・真珠会館

表彰日 令和6年 3月18日(月) 於：伊勢・真珠会館

農林水産大臣賞1点、水産庁長官賞2点、日本真珠振興会会长賞等団体賞3点を選考し、表彰した。

第21回全国花珠真珠品評会

審査会 令和5年 12月25日(月) 於：伊勢・真珠会館

表彰日 令和6年 3月18日(月) 於：伊勢・真珠会館

農林水産大臣賞1点、水産庁長官賞2点、日本真珠振興会会长賞等団体賞3点を選考し、表彰した。

- イ 第43回愛媛県浜揚真珠品評会
実施：愛媛県漁業協同組合、愛媛県真珠養殖漁業協議会
(令和5年11月17日(金)於：宇和島市総合福祉センター・4Fホール)
真珠養殖の技術および品質の向上を図り、もって業界の長期安定と発展に資することを目的として開催される品評会を後援、日本真珠振興会会长賞を授与した。
- ウ 第16回三重県真珠品評会 実施：三重県真珠養殖連絡協議会
(令和5年12月12日(火)於：志摩市商工会館・1Fカルチャーレンジ)
三重県内産浜揚真珠のうち、品質の優秀なものをエントリーし展示公開するとともに、その中で特に優秀なものを選び表彰する事業を支援した。
- ② 養殖技術向上関連
- ア 自動観測装置管理事業 実施：三重県真珠養殖連絡協議会
(令和5年4月1日(土)～令和6年3月31日(日)於：英虞湾央、湾奥、的矢湾、五ヶ所湾等)
県下の真珠養殖漁場合計11基の自動水温観測装置について水温、溶存酸素、塩分濃度のデータを30分間隔で観測し、WEBサイトを通じてデータを公開することで真珠養殖業等の生産の安定を図るとともに漁業者に対し海象状況を提供する事業を支援した。
- イ 宇和海水温観測システム 実施：愛媛県漁業協同組合ほか
(令和5年4月1日(土)～令和5年3月31日(日)、於：愛南町内海塩小島近海)
内海、塩小島に設置している水深60メートルの水温計を活用し、日々の養殖管理に役立てる事業を支援した。
- ウ 中間育成事業 実施：全国真珠養殖漁業協同組合連合会
三重県では個人で真珠養殖を行っている生産者が多いため愛媛県から母貝を購入している事が多い。このため、三重県の生産者は、令和元年度に発生した大量死以降、養殖生産に必要な母貝の確保が年々難しくなっている。そこで、全真連では、夏場の高水温等の影響が比較的小ない九州地区において稚貝の中間育成を行い、ある程度大きくなった貝を三重県に移す「中間育成事業」を実施した。長崎県真珠養殖漁業協同組合面高種苗センターが採苗し、5月～10月末にかけて九州方面で中間育成を行い、その後三重県内に配布した。この事業を支援した。
- エ 三重県海岸ごみ回収事業
サステナブルな養殖生産環境を維持していくために三重県内で取り組まれている漁網、養殖筏、浮きなどの海岸ゴミを回収する事業を支援した。

[その他会計]

1 真珠検定事業

従来曖昧だった真珠についての価値基準や諸説を整理し、真珠の美しさをより多くの人に伝えることを目的として平成26年度から真珠検定事業を実施。「販売関係者の真珠知識向上(教育)」「一般消費者の真珠爱好者育成(販売成果)」をひとつの取り組みで実現させる仕組みで活動している。

令和5年度は以下のとおり事業を実施した。

① 講座等実施状況

・一般消費者向け はじめての真珠講座の開催

より広く一般に真珠の魅力に触れてもらうため、基本的な内容を短時間で伝える講座として平成26年度より開始され、令和5年度は58回開催した。

・学生向けSA検定講座

今年で開催となる学生向けSA検定講座を、ヒコ・みづのジュエリーカレッジ東京校、

大阪校で開催した。受講者数31名。学生SA資格登録者数26名。

- ・JA（ジュニアアドバイザー）講座の開催

平成30年度よりeラーニングを開始し、令和5年度は329名が受講した。

- ・SA（シニアアドバイザー）令和5年度は14回開催、受講者数は59名だった。現在、SA資格登録者総数296名。

- ・SP（スペシャリスト）認定試験

販売経験3年以上かつSA取得後3年以上の実績を持ち、SAフォローアップ研修を5回以上受講した知識・経験・倫理・選別眼を併せ持つ真珠のスペシャリストの認定試験である。令和5年度は7名が受験し、1名が合格した。現在SP資格登録者総数は9名。

② オンライン教材、セミナーの実施

- ・SA限定ダウンロード資料を4点配布した。また、SA限定メールマガジンを34回配信した。
- ・SAオンライン定例会を5回、SAオンライン実習を14回開催した。
- ・はじめての真珠講座開催研修を6回、SPとのオンライン意見交換会を6回実施した。
- ・養殖場見学ツアー、SAリアル懇談会を各1回、糸替えクラスプ付け講座(3か月間)を2クール開催した。

③ その他活動

- ・SA資格取得に関する説明相談会を開催した。
- ・ジャパンパールフェア視察研修を2回実施した。
- ・真珠に関するテレビ局や新聞社からの問い合わせに対応した。

2 アコヤガイ母貝の遺伝系統解析事業

令和5年度「養殖業体质強化緊急総合対策事業のうち国産人工種苗転換対策事業」補助金の交付を受け、日本真珠振興会ミキモト分室に遺伝子解析事業に用いる研究機器等を整備した。また、その取り組みと合わせて、三重県、長崎県、愛媛県の機関から提供を受けていたアコヤガイ(83検体、10グループ)を対象としてddRAD-seq法によるシークエンスを行った。

3 真珠産業海外展開強化事業

- ・令和5年度の標記事業補助金の交付決定を受け、真珠産業連携強化協議会(以下「協議会」という。学識経験者・事業者・真珠関係自治体・研究機関・国により構成)及び関係3部会(生産開発部会、販売・マーケティング部会及び輸出拡大戦略部会)を設置した。
- ・真珠産業連携強化協議会

第1回協議会を令和5年7月11日(火)にリモートで開催し、①会議の推進体制の決定と会長・部会長の選出、②行動計画の改定作業に関する協議を行った。

第2回協議会を令和6年3月28日(木)にリモートで開催し、①本年度の各部会活動報告、②次世代中核的人材育成事業の活動報告、③作業行動計画の評価と改訂作業を実施した。

- ・生産開発部会

第1回部会を令和5年7月14日(金)にリモートで開催し、最近のアコヤガイ真珠養殖の生産状況について情報交換した後、①真珠養殖の生産管理ポイント策定調査の進め方(委託先:日本エヌ・ユー・エス株式会社)②「生残率が高く品質の良い真珠を作る真珠母貝養殖の実証試験」の概要(委託先:愛媛県真珠貝養殖漁業協議会)③アコヤガイ稚母貝の遺伝系統解析の進め方(委託先:沖縄科学技術大学院大学、東京大学大学院)について協議した。

第2回部会を令和6年3月18日(月)にリモートで開催し、最近の真珠生産及び販売状況について情報交換した後、①「真珠養殖の生産管理ポイント策定業務」成果報告(委託先:日本エヌ・ユー・エス株式会社)②「生残率が高く品質の良い真珠を作る真珠母貝養殖の実証試験」結果報告(委託先:

愛媛県真珠貝養殖漁業協議会)③2022年度真珠母貝遺伝系統解析成果報告(委託先:沖縄科学技術大学院大学、東京大学大学院)の3点について協議した。

・ 販売・マーケティング部会

第1回部会を令和5年7月13日(木)にリモートで開催し、①広告宣伝戦略構築に係るワーキンググループによる「動画作成事業」の進捗状況②アメリカ東部地域に係る消費者動向調査業務③主要宝飾店を対象とする定点観測調査について協議した。

第2回部会を令和6年3月19日(火)にリモートで開催し、①アメリカ東部地域における真珠に係る消費者動向調査②重点国における真珠サプライチェーンの把握とマーケット解析結果について協議した。

・ 輸出拡大戦略部会

第1回部会を令和5年7月13日(木)にリモートで開催し、第1回部会では、①農林水産省令和5年度当初予算事業への取り組み②農林水産省令和5年度補助予算事業への取り組み(「第4回ジャパンパールフェア」等への取り組みについて)③農林水産省輸出拡大実行戦略事業における重点国への拡大④農林水産省フラッグシップ事業への対応の方針⑤農林水産省G I認証制度の利活用方法について協議した。

第2回部会を令和6年3月22日(金)にリモートで開催し、①第3回ジャパンパールフェアの開催結果について②「アメリカ東海岸地域における真珠消費者動向に関する調査」結果報告③「生残率が高く品質の良い真珠を作る真珠母貝養殖の実証試験」結果報告、④農林水産省品目団体輸出力強化支援事業令和5年度補正予算「課題提案書」、農林水産省品目団体輸出力強化支援事業令和6年度当初予算課題提案書について協議した。

- ・ 真珠産業の次世代を担う人材が取り組む活動を支援する「次世代中核的人材支援事業」を実施し、真珠養殖における技術試験、リサイクル等に関する5グループの活動を承認し、それぞれのグループ活動を支援した。
- ・ これらにより、関係機関の連携強化を図りつつ、真珠産業及び真珠に係る宝飾文化の振興に向けて全国的な取組みを実施した。

4 農林水産物・食品輸出促進対策事業(品目団体輸出強化支援事業)

農林水産省「農林水産物・食品輸出促進対策事業」のうち「品目団体輸出強化支援事業」の予算を使って、以下の事業を実施した。

○ アメリカの真珠に係る消費者動向調査

近年市場の成熟化で需要が低迷傾向にあるアメリカであるが、近年新規需要が形成される傾向がみられることから、アメリカの需要動向や新規需要層の需要特性、市場深掘りにあたっての課題などを明らかにする目的で消費者動向調査(ネットアンケート)を実施した。調査対象は、ニューヨーク州をはじめとした購買力が比較的高い都市圏に居住する3,000人の消費者とした。

○ 日本産アコヤ真珠の持続可能性に関するPR事業

宝石への関心が、「美しいもの」というだけでなく、倫理性や持続可能性等に付加価値を求める潮流がある。特にこの需要は欧米諸国など海外で高まっている。日本の有力産地である三重県では、「パールコンポスト事業」(真珠採取後のアコヤガイ貝肉を活用した堆肥作り)が展開されるとともに、貝殻を使ったボタン生産、化粧品材料、建築資材など幅広く活用されている。行政当局もアコヤ真珠関連のSDGs事業を強化している。この事業では、日本の真珠養殖産地で行われているサステナブルな取り組みに的を絞ったリーフレットや動画(日本語、英語、中国語)を作成し、ビィチエンツア国際宝飾展でのプロモーションでの活用やオンライン商談会など展示会の機会を活用して配布を行った。

○ 安定したオンライン商談に不可欠な撮影拠点の整備(標準光源、撮影技術の統一化)

海外及び国内でのオンライン商談の安定に資するため、真珠卸会社が集積している神戸、伊勢、東京に標準光源を備えた撮影拠点を確立。オンライン商談に向けた効率的な撮影環境を確保し、ジャ

パンパールフェアにおいて活用した。

- 生残率が高く品質の良い真珠を作るアコヤ真珠母貝養殖の実証試験
真珠養殖に使用するアコヤガイ稚母貝のへい死問題は業界として解決すべき喫緊の課題である。
この事業は、愛媛県の母貝養殖業界の協力のもと、沖合のウイルスフリーと考えられる海域において、生残率が高く、品質の良い真珠を作るアコヤガイ稚母貝の2段階生産の条件を見極めることを目的に実施した。
- 中国バイヤー等を対象としたB to B特化、ハイブリッド型商談会（ジャパンパールフェア）の開催
2023年11月13日（月）から15日（水）に神戸サンボーホールにて中国人バイヤー等を対象としたB to B特化、ハイブリッド型商談会（第3回ジャパンパールフェア）を開催した。第3回商談会では1248名（このうち海外バイヤー664名）のバイヤーが来場した。
- オンライン入札システムの開発
オンライン商談会を評価するにあたっては、入札システムの良し悪しが影響を与えることから、本事業では、昨年度の国際商談会で使用した入札システムでの反省を踏まえ、さらに「入札参加者の日程調整機能」「来場者管理システム」「未入金管理システム」「ネットバンキングデータ受渡、振込手数料登録機能」など多様な機能を付加したオンライン入札システムを開発し、ジャパンパールフェア開催時に試行した。その結果は関係者間で共有し、次回以降の改善計画の検討に役立てた。

5 農林水産省・食品輸出促進緊急対策事業（品目団体輸出強化緊急支援事業）

農林水産省「農林水産物・食品輸出促進対策事業」のうち「品目団体輸出強化緊急支援事業」の予算を使って、以下の事業を実施した。

- 中国バイヤー等を対象としたB to B特化、ハイブリッド型商談会（ジャパンパールフェア）の開催
2024年6月10日（月）から12日（水）に神戸国際展示場2号館にて中国人バイヤー等を対象としたB to B特化、ハイブリッド型商談会（第4回ジャパンパールフェア）を開催する予定である。

6 普及啓発事業

① 「振興会のページ」の作成と配布

振興会の事業活動について、真珠業界関係者に理解を得るために、伊勢新聞社の協力の下、当該新聞社が発行する「真珠新聞」に「振興会のページ」を作成し、第1種会員、第2種会員に配布した。
また、国内宝飾展会場でも配布した。

- 令和5年4月11日号においては、日本真珠振興会が令和4年度に取り組んだ「日本真珠国際競争力強化推進事業」において取り組んだ事業の概要と成果の紹介、令和4年度「次世代中核的人材支援事業」の活動報告、第47回全国真珠品評会(浜揚げ珠)及び第20回全国花珠真珠品評会の結果報告、受賞者インタビュー、真珠検定委員会による花珠鑑定書卒業実践塾の開講、S A限定フォローアップ研修の実施報告、を掲載した。
- 令和5年8月1日号においては、真珠検定委員会によるS A限定フォローアップ研修の実施報告、「18歳のファーストパール」プロモーション、真珠検定委員会S A限定フォローアップ研修の実施報告、第6回S P認定試験の合格結果等を掲載した。
- 令和6年1月1日号においては、藤田振興会会长の新年インタビュー、2023年日本真珠再生特別事業負担金に関する拠出者名簿、愛媛県浜揚真珠品評会・講評、愛媛県浜揚真珠品評会農水大臣賞受賞インタビュー、「ミズ・オンドアール2024」の審査結果報告、真珠検定・S A限定フォローアップ研修の実施報告等について掲載した。

② 矢野経済研究所発行「JAPAN PRECIOUS」への広告記事の掲載

- No.109（2023年Spring号）には、日本真珠振興会真珠検定委員会が、真珠検定シニアアドバイザー（S A）の資格保有者を対象に定期的に実施している、オンラインによる「S A

定例会」の活動状況、花珠鑑定書卒業実践塾の開講、S P認定試験の合格者インタビュー、輸出促進法に基づき、一般社団法人日本真珠振興会が農林水産省より認定品目団体として認定を受けたこと等について掲載した。

- No. 110 (2023年 Summer 号) には、真珠検定 S P (スペシャリスト)へのインタビュー記事、S A (シニアアドバイザー)へのインタビュー記事、令和4年度水産庁補助事業「日本真珠国際競争力強化推進事業」において開催した第2回「真珠産業連携強化協議会」「生産開発部会」、「販売・マーケティング部会」、及び「輸出拡大戦略部会」における協議内容、令和4年度「次世代中核的人材支援事業」活動報告等について掲載した。
- No. 111 (2023年 Autumn 号) には、令和5年度水産庁補助事業「日本真珠国際競争力強化推進事業」において開催した第1回「真珠産業連携強化協議会」、「生産開発部会」、「販売・マーケティング部会」、及び「輸出拡大戦略部会」における重点課題内容、「行動計画」の評価と改定作業に関する協議、令和5年度「次世代中核的人材支援事業」実施計画等について掲載した。
- No. 112 (2023年 Winter 号) には、ネックレス糸替え&クラスプ付け技能習得講座の活動報告、真珠リスタート実践塾第3期の開催通知、真珠講座オンラインライブ全10回開催通知、真珠検定 H P のコンテンツ紹介、真珠検定 S P (スペシャリスト)へのインタビュー記事等について掲載した。

③ 「真珠連絡会」事業

日本ジュエリー協会との連携事業「真珠連絡会」において、

- 真珠に関する正しい知識をもってもらうためのパンフレット「真珠のしおり」を制作した。
- 日本の宝石である「アコヤ養殖真珠」を訪日外国人に紹介するため、J A Lの国際線機内誌「SKYWARD」6月号に英文でタイアップ記事を掲載した。
- 「真珠フリー素材集」として、男性による真珠ジュエリーの装着画像を作成した。
- 第35回国際宝飾展(会期：2024年1月19日～21日、於：東京ビックサイト)のセミナーの一つとして「俺たちのパール～ジェンダーレスに真珠を楽しむ～」というテーマのトークセッションを実施した。

④ 真珠検定のプロモーション動画を作成した。

⑤ 一般消費者からの質問、相談への対応

メールや電話による一般消費者からの質問や相談、消費者センターからの問い合わせに対応した。

[法人会計]

① 総会、理事会の開催（前掲）

② 能登半島地震復興支援金

2024年1月1日に発生した能登半島地震で被害のあった地域の復興のため、支援金として J F いしかわに寄付した。